

フィールドスタディー「上野国からみた北武蔵の古代史」

平成28年度大東文化大学秋期オープンカレッジ（東松山キャンパス）

再点検！北武蔵の古代史 「上野国からみた北武蔵の古代史」

<フィールドスタディー>

引率講師：宮瀧 交二 先生（講座講師）

☆日時	平成28年11月15日（火）※雨天決行
》集合場所	◎第一集合地 東松山キャンパス・管理棟前駐車場 9：00集合 ◎第二集合地 東上線高坂駅西口朝日興産前 9：10集合 ※フィールドスタディーの参加・不参加、及び集合地を11月1日（火）までにご提出ください。 (当日不参加になった場合は必ずセンターにご連絡ください。)
》日 程（予定）	9：00 東松山キャンパス出発→9：10 高坂駅出発→（上里SA休憩）→群馬県立博物館（見学・昼食）→観音塚考古資料館（見学）→（寄居PA休憩）→高坂駅→大東文化大学東松山キャンパス（解散） ※集合地で入館料（群馬県立博物館）200円（20名以上のご参加の場合は160円）を集金します。お釣のないようにお持ちください。また、障害者手帳をお持ちの方は、入館料が免除されます。手帳または記載部分のコピーをご持参ください。 ※道路状況ほかにより到着時間が予定時間通り行かない場合があります。予めご了承ください。 ※当日はお弁当・レジャーシートをご持参ください。
》同 行	中野 泰彦・堀越 健太（地域連携センター）
》観光バス	東栄自動車

ここは群馬県立博物館





最近リニューアルオープンしたらしい



■展示改修の考え方

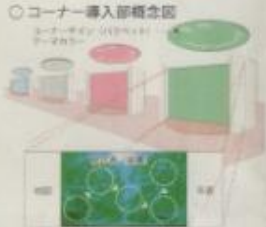
展示改修にあたっては、現状の運営面での課題を解決し、より充実した展示を来館者に提供できるよう、運営、来館者サービス双方に配慮して計画いたします。

1.企画展示室の充実

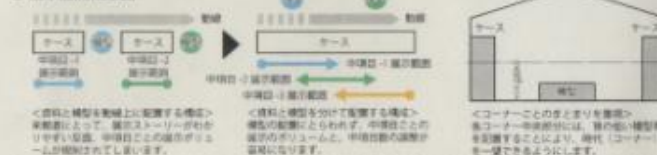
- 現状不足している企画展示室面積(約300㎡)を、様々な企画に対応可能な面積(約600㎡)に拡張します。
- 独立した搬出入動線を確保することにより、現在のように全館閉館することなく、展示替え作業が行えるようにします。
- 常設展示室と動線を分離することにより、個別に観覧料を徴収できるようにします。

2.常設展示室の再構成

- 2-1 ● 常設展示室の導入として、「東国古墳文化展示室」を設けます。東国随一の副葬品と埴輪が出土した埴輪産音山古墳を中心に、古代東国の中心地として栄えた、古墳王国・群馬県をアピールします。
- 2-2 ● ます、通史展示では、導入部の造作デザインの統一をはかり、展示空間における配置に秩序をもたせることによって、来館者の動線と及び、視覚的にも、各コーナーの区切りを明確にします。
- 資料展示(ケース展示)は、各コーナーの外周部に配置し、模型、造形等は各コーナーの中央部に集約します。展示替えにおける展示ボリュームの調整を容易にし、各コーナー内が一瞥できるようになります。



○展示室構成図



- 2-3 ● 通史展示に位置づけられない、10万点に及ぶ収蔵資料を活用するために、フレキシビリティの高いテーマ展示室を設けます。
- テーマ展示室は、企画展示室と一体的に活用可能ようになります。

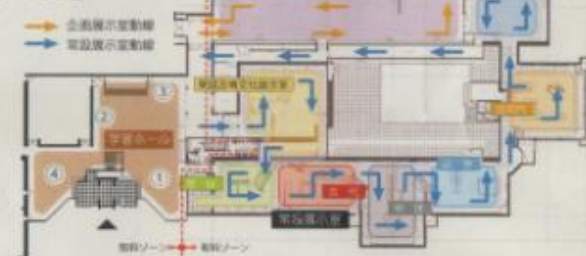
3.学習ホールを活用

- 学習ホールを無料ゾーンと位置づけ、群馬の森への来館者や県外からの観光客の来館を促します。
- 県内の関係諸機関と密接なネットワークを構築し、情報発信拠点として学習ホールを活用します。

- ①情報コーナー
県内の歴史、文化遺産等、マテリアル情報を提供します。
- ②立体地図模型プロジェクションマッピング
ガイドスコーナーとして、既存の群馬県立体地図模型に、様々な群馬に関する情報を投影し紹介します。
- ③図書・レファレンス
博物館関係者と利用者の交流を促進します。
- ④休憩コーナー・ミュージアムショップ
オリジナルキャラクターグッズの展開や、展示への興味を喚起する演出を検討します。



○ゾーニング図



■展示構成表

展示室名称	展示内容	展示形式	展示期間	展示費用	展示担当者
常設展示室	東国随一の副葬品と埴輪が出土した埴輪産音山古墳を中心に、古代東国の中心地として栄えた、古墳王国・群馬県をアピールします。	ケース展示、模型、造形	常設	無料	常設展示室
学習ホール	情報コーナー、立体地図模型プロジェクションマッピング、図書・レファレンス、休憩コーナー・ミュージアムショップ	情報コーナー、プロジェクションマッピング、図書・レファレンス、ミュージアムショップ	常設	無料	学習ホール
企画展示室	様々な企画に対応可能な面積(約600㎡)に拡張します。	ケース展示、模型、造形	企画	有料	企画展示室
テーマ展示室	10万点に及ぶ収蔵資料を活用するために、フレキシビリティの高いテーマ展示室を設けます。	ケース展示、模型、造形	企画	有料	テーマ展示室

リニューアルオープン

特別展示

群馬県古墳総合調査と金井東裏遺跡



1-1 古墳の復元図（中央部）



2-1 古墳出土の石版



2-2 古墳出土の石版



2-3 古墳出土の石版

2016

群馬県立歴史博物館

さて、ここは高崎市の観音山古墳



前方後円墳/右手が後円部/石室が開放しているの見える





横穴式石室に入ってみる





羨道から玄室を見たところ



玄門の位置には大振りの石が置かれている



こんな塩梅



玄室/その高さが見て取れる



巨大な天井石/吉井町産出の牛臥砂岩



奥壁



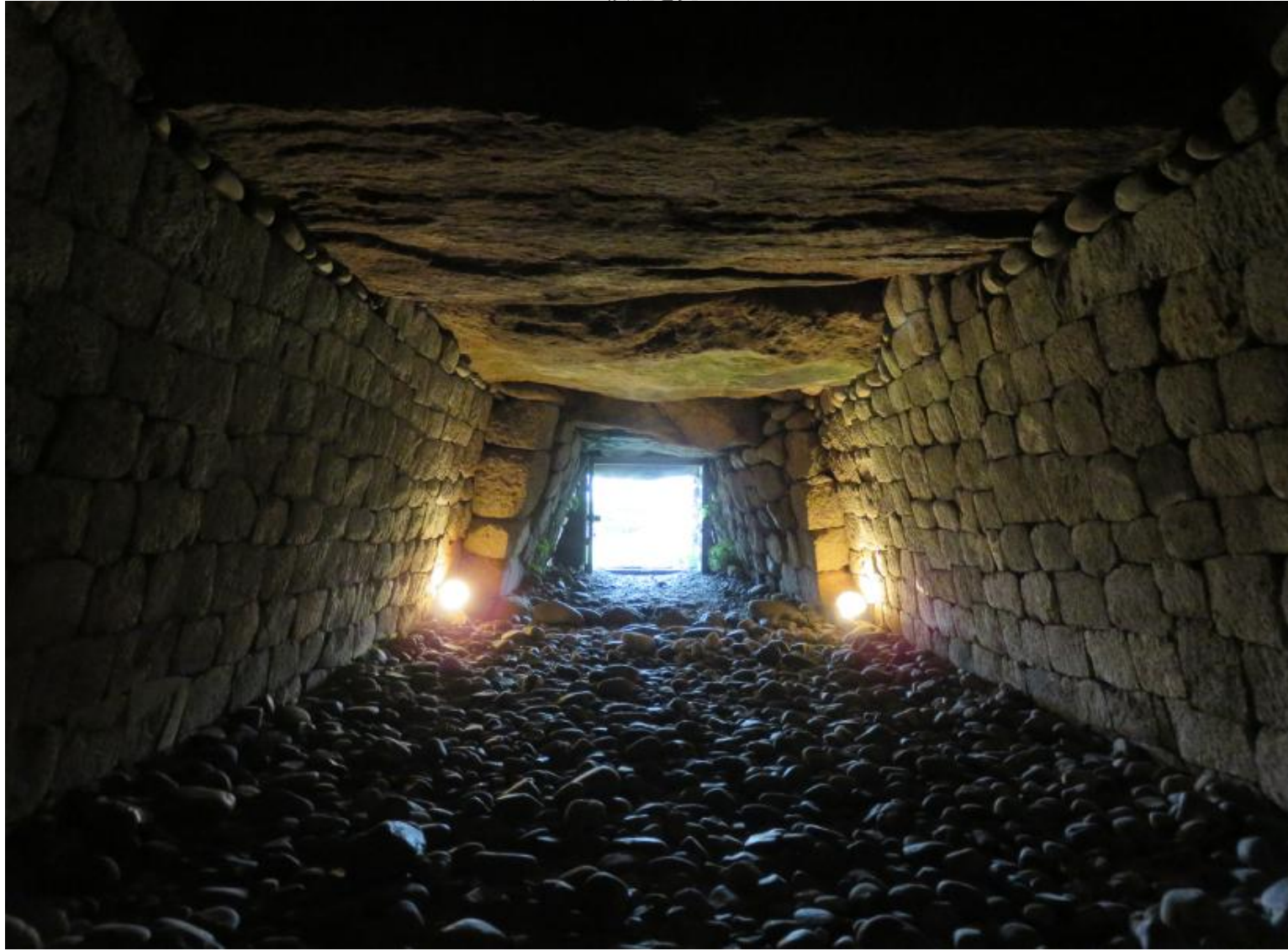
側壁/榛名山ニツ岳噴出の角閃安山岩の切石積



床石



玄室から羨道を見たところ



6世紀末築造の両袖型横穴式石室



羨道の側壁/河原石積で玄室に比べ粗雑である



かんのんやま こふん

観音山古墳 (国指定史跡)

指定年月日 : 昭和48年4月14日

所在地 : 高崎市綿貫町1,752ほか

指定面積 : 18,908.92㎡

整備状況 : 古墳の復元整備実施
駐車場トイレ設置

出土品保管先 : 群馬県立歴史博物館

交通 : 高崎市内循環バスぐるりん
「綿貫団地南」下車徒歩約5分



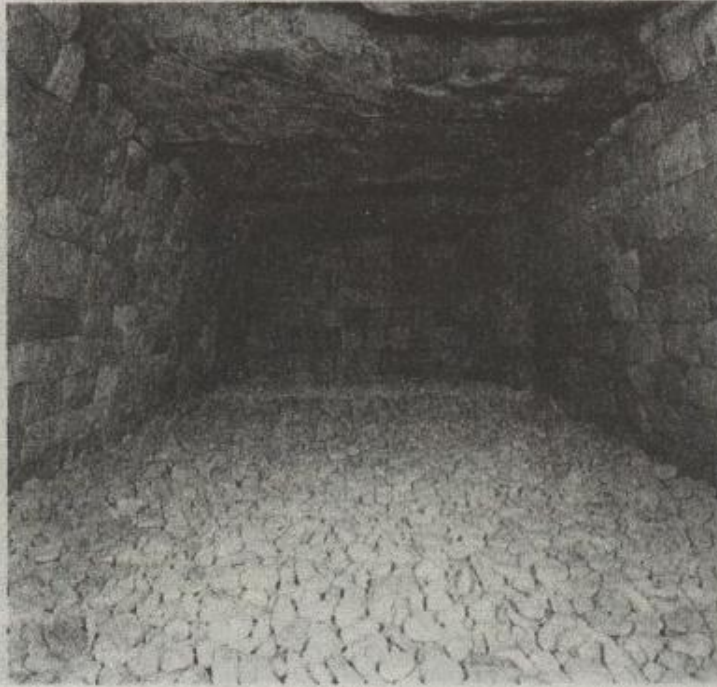
観音山古墳は、高崎市の東部、烏川の支流井野川の右岸台地上に立地する前方後円墳である。墳丘は2段築成で、その規模は全長98m、後円部径61m、同高さ9.5m、前方部幅63m、同高さ9.1mを計る。

墳丘の周囲には、馬蹄形を呈する2重の周



堀が巡る。この外堀の外縁部を古墳の
範囲とすると主軸全長は185mに及ぶ。

本古墳の特色を語る上で欠かせない



のが、墳丘から検出された埴輪群である。特に形象埴輪の配列状況は、古墳時代の葬送儀礼の一端を具現するものとして全国的にも注目を集めている。

後円部墳頂部からは家、鶏、盾などが、中段平坦面の横穴式石室入口部付近からは甕、巫女、三人童女、鞍負武人、御食持女人が、さらにその一群の北側からは正装貴人、挂甲武人、農夫が、また、前方部平坦面からは盾持男子、盾、飾馬、馬飼男子、鷹匠がそれぞれ原位置をとどめ検出された。

内部施設は後円部に位置し、南西に開口する両袖型の横穴式石室である。石室の規模は全長12.5m、玄室



長8.2m、同幅3.5m、羨道長4.5m、同幅2mを計る。石室の石材は、羨道入口寄りの半分が川原石、その他は全て榛名山二ツ岳噴出の角閃石安山岩の削石である。玄室に壁面は五面加工した人頭大の角閃石安山岩を互目積みし、随所に切り組みの手法が見られる。天井石には巨大な牛伏砂岩の自然石を使用している。

副葬品は、盗掘を免れていたために原位置を保った状態で検出された。

副葬品は極めて優れたもので、金銅製鈴付き大帯・櫛・銀製鍍金空玉・金環・ガラス小玉・獣帯鏡・仿製神獣鏡などの装身具、鉄鏃・大刀・異形冑・挂甲・鉾などの武器・武具、銅製轡・金銅製花卉付雲珠・歩揺付雲珠・環鈴・杏





金銅製水瓶

金銅製透彫杏葉
金銅製花卉付雲珠
獸帶鏡

葉などの馬具、金銅製水瓶・
須恵器・土師器類の什器類が

ある。

観音山古墳は6世紀末の築造と考えられ、その被葬者は大陸や朝鮮半島と交流のあった上毛野地方の有力豪族が想定される。 (三浦 茂三郎)





企画展が行われていた

平成28年度高崎市観音塚考古資料館 第2回企画展

前方後円墳が消えるとき

再考、観音塚古墳の史的意義

2016.10.8 sat – 12.4 sun 無料開館日 - 10月8日(土)閉館日、10月28日(金)観民の日

主催：高崎 - 高崎市観音塚考古資料館、開館時間 - 午前9時 - 午後5時、休館日 - 月曜(祝日の場合は別)、観音塚古墳
 入場料 - 一般300円(高校生200円)、小学生100円、幼児50円(幼児は保護者の同伴が必要) 観音塚古墳
 高崎市観音塚考古資料館 高崎市観音塚古墳 高崎市観音塚古墳 高崎市観音塚古墳 高崎市観音塚古墳 高崎市観音塚古墳
 〒370-0884 群馬県高崎市八幡町800-144 tel. 027-343-2286 fax. 027-343-2270
 URL: <http://www.city.takasaki.gunma.jp/>

前方後円墳が消えるとき

再考、観音塚古墳の史的意義

3世紀後半に近畿地方から關門内前山部(北九州)にかけて出現した前方後円墳は、やがて北海道と沖縄を除く日本列島の各地で造られるようになり、その数は約4,700基とも推定されています。ところが歴史からすると約300年間にわたって造り続けられてきた前方後円墳も、一旦に建造を停止します。この企画展では、日本列島の中でも最後の前方後円墳として有名な奈良県の五条野丸山古墳・宇田山古墳、関東地方を代表する埼玉県の山崎古墳・野崎古墳、群馬県の最終末前方後円墳の基などを紹介しながら、前方後円墳の消滅の理由を探ります。また、その中で観音塚古墳が日本の古墳時代史上どのように位置づけられるのかを考えてみたいと思います。

最後の輝き、最終末前方後円墳の華麗な副葬品の世界

三葉型大刀石製/野崎古墳 (群馬県野崎町野崎古墳)

銀鍍金大刀柄頭/野崎古墳 (群馬県野崎町野崎古墳)

銅製鏡/山崎古墳 (東北大学総合研究博物館)

金銅製雲珠/埼玉野丸山古墳 (東北大学総合研究博物館)

鉄製笠形銅鏡/野崎神社古墳 (東北大学総合研究博物館)

鉄製雲珠/野崎神社古墳 (東北大学総合研究博物館)

高崎市観音塚考古資料館

関連事業

●体験学習

1)「企画展関連古墳めぐりバスツアー」

- 10月29日(土) 午前9時～午後4時
- 見学先：観音塚古墳・大塚古墳群・緑丘古墳群
- 参加費：無料
- 定員：30名(定員超過の場合は断念)
- 対象：高校生以上
- 申込み：団体はがき住所・氏名・電話番号・希望人数(1校につき各様まで)を記入し、資料館までお送りください。(10月1日(日)閉館日までに定員者全員に抽籤結果を発送させていただきます。)

2)「金工ワークショップ-アクセサリーをつくらう-」

- 10月27日(土) 午前9時30分～午後3時
- 講師：平山博史(彫刻家)
- 参加費：3000円(材料代)
- 定員：15名(先着順)
- 対象：高校生以上
- 申込み：10月27日(土)午前9時30分から電話にて受付

●講演会 - 無料、申し込み不要、定員約70名

1)「近畿地方の前方後円墳が消えるとき」

- 平成28年11月20日(日) 午後1時30分～3時
- 高田浩光氏(群馬県立歴史博物館学芸員)

2)「関東地方の前方後円墳が消えるとき」

- 平成28年11月27日(日) 午後1時30分～3時
- 石井久成氏(群馬県立歴史博物館学芸員)

●学生員による展示解説

- 10月29日(土) 10時30分～12時30分
- 10月30日(日) 10時30分～12時30分
- 10月31日(月) 10時30分～12時30分

高崎市観音塚考古資料館
 Kannonzuka Museum of Archaeology, Takasaki
 〒370-0884 群馬県高崎市八幡町800-144 tel. 027-343-2286 fax. 027-343-2270

交通機関
 関越自動車道高崎ICから、国道118号経由で約10分
 高崎駅中心のタクシー21分
 高崎駅からバス(高崎駅西口乗降場)下車、徒歩5分
 高崎駅前バスセンターから徒歩15分(高崎駅前、高崎駅前西口、高崎駅前東口)

観音塚考古資料館から観音塚古墳へ向かう/正面の木々の迎りがその場所



後円部にある横穴式石室に入ってみる





羨道と玄室(奥)を仕切る楕石



ここから先が玄室



奥壁



石室内から入口を見たところ



巨大な天井石



羨道から入口を見たところ



国指定史跡 観音塚古墳

所在地 高崎市八幡町字観音塚 1087番地
 指定年月日 昭和23年1月14日

本古墳は、高崎市街地西方の八幡丘陵に所在する大型前方後円墳である。墳丘長は現状105mで、周囲に堀を巡らす。6世紀末～7世紀初めの築造で、前方部の幅や高さが後円部を凌ぐのは、前方後円墳終末期の特徴である。

後円部南に開く両袖式の横穴式石室は、全長15.3m、玄室長7.1m、同幅3.4m、同高2.8mを測り、最大で10畳大の巨石をみごとに組み上げた、日本を代表する巨石石室である。石材は北方を流れる烏川の上流から運搬したとみられる。

1945(昭和20)年、防空壕の掘削で多量の副葬品が出土し、一括して国重要文化財に指定されている(指定名称:上野国八幡観音塚古墳出土品・昭和36年2月17日指定)。銅製容器、鏡、装身具、武器、武具、馬具、須恵器など30種約300点あまりを数え、なかでも銅承台付蓋碗や刀装具、透彫のある杏葉(馬具の一部)などは、日本の後期古墳出土品のなかでも名品として知られる。

八幡台地においては、平塚古墳(105m、5世紀後半)→八幡二子塚古墳(66m、6世紀前半)→観音塚古墳と、三代にわたる前方後円墳が確認できる。また、北方の剣崎長湍西遺跡(5世紀後半)では朝鮮半島系渡来人の存在を示す資料が出土している。八幡台地を拠点にして古代碓氷・片岡郡域に勢力を張り、渡来人を配下に編成して地域経営を行った東国有力の首長像が推定できよう。

なお、出土品は観音塚考古資料館に収蔵・展示されている。

平成26年6月30日

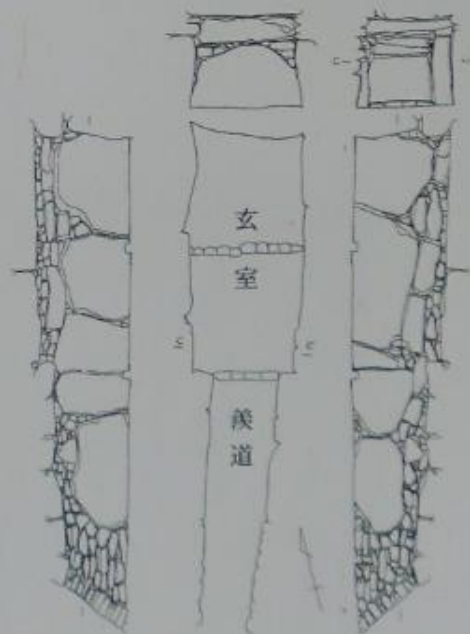
高崎市教育委員会



1. 剣崎天神塚古墳(消失) 2. 剣崎長湍西古墳
 3. 若田大塚古墳 4. 船ノ木塚古墳 5. 観音塚古墳
 6. 平塚古墳 7. 二子塚古墳 8. 剣崎長湍西遺跡

■ 墳丘断面図

0 50m



■ 杏葉(金銅製心鏡形透彫杏葉)



■ 刀装具(観音塚出土品)





南西側

参考ホームページ

<http://grekisi.pref.gunma.jp/>

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/takasaki_kannon2/

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014010800114/>

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014090500010/>

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/takasaki_kannontuka/